


学校名 [田子中学校] 氏名 [白石 和 也] [中] 学校 [中学校] 年版 単元名 [一人一人が災害に備える] P38～39 教科・領域名 [総合的な学習の時間] [時間 50分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【はじめに】</p> <p>田子中学校では「地域防災訓練」を中心とした「防災強化期間」(9月～11月)を設定している。その中で、「地域防災訓練」に向けて、地区ごとに生徒と教員、地域の方を交えた打合せ会を行っている。第1回打合せの中で、「防災副読本」を活用し、地域社会との連携・地域との防災体制の整備・防災意識の向上を図る目的で授業を行った。</p>	
<p>※5校時終了→清掃→帰りの会→地区ごとの教室に移動</p> <p>1 授業開始</p> <p>(1) 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師...自己紹介と今日の授業の目的の説明 ○地区の方...自己紹介と一言 <p>(2) 生徒自己紹介</p> <p>(3) 学年防災チーフの決定</p> <p>(4) 副読本の活用</p> <p>① 災害直後の生活を振り返る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3.11のあと、どのような生活をしていましたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所生活を送っていた。 ・ 地区の方と炊きだしをしていた。 <p>② 授業の目標の確認</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自助について考え、「地域防災訓練」について自分ができることを考えよう</p> <p>③ 防災、減災という言葉について確認する。</p> <p>④ 自宅内避難について考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自宅内を避難所とする場合に必要なのは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家具を倒れないように固定する。 	<p>～教師の役割～</p> <p>※1地区2人から3人の教員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域担当...地域の方を会議室から教室まで誘導し、内容について簡単に打合せをする。 ・ 全体司会...教師の自己紹介や講話、地域の方の自己紹介、生徒の自己紹介等全体の司会をする。 ・ 授業担当...新防災教育副読本に沿って授業を進める。(その他の先生は机間巡視) ・ 地区の方と顔見知りになることも目的の1つ。「よろしくお願ひします」等の挨拶を大切に。 ・ 異学年なので、十分に目標を確認する。 <p>☆副読本の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅内で避難できる場所の確認 <p>※学年ごとに話し合いを持つ</p> <p>☆副読本の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本については2,3名指名し生徒に判読させる。 ・ 地区の方にもコピーしたものを配布し、授業の内容について担当教諭から随時説明する。 ・ 地区の方や異学年がいても話し合いができるように意識づけと役割分担、代表者の発言等工夫するように指導する。 ・ 司会等は極力生徒のチーフにさせて、自主的な活動を促す。
	
○授業風景	

⑤ 循環備蓄について知る。

「循環備蓄」とは、どういうことだろうか。

- ・ 震災後にどんな食生活をしてきたかを振り返る。
- ・ 自分たちの家で実際備蓄しておきたいものについて考える。

⑥ 中学生ができることを考える。

中学生の私たちができることには、どんなことがあるでしょう。

- ・ お年寄りを回り、体調や震災時の避難について確認する。
- ・ 炊きだし訓練
- ・ 要救護車の搬送
- ・ マンション等建築物の巡視
- ・ 水分の確保

⑦ 振り返り

(5) 地区の方から一言

(6) まとめと連絡 号令・解散



○授業風景

☆副読本の活用

- ・ 備蓄できるものの条件について考えさせる。
- ・ 各自、備蓄できるものを具体的にあげて、必要なものを書き出させる。

☆副読本の活用

- ・ 防災訓練時に何ができるのか考えさせる。学年ごとに活動内容が違うことも事前に話しておく。
- ・ 2, 3年生は過去の「防災訓練」の経験から今回の訓練で中学生が何が出来るのか具体的に話し合う。
- ・ 話し合った内容を地区の方でも理解できるように丁寧に説明させる。
- ・ 感想や次回の地区防災訓練についての話等をもらう。

《連絡》

- ・ 次回の予定...〇月〇日（金） 地域防災訓練の役割等詳細の説明...地区の方から分担予定
- ・ ファイルと防災読本は回収し、担当で目を通す。次回は担当から配布する。
- ・ 今日の態度の評価等を担当の先生からもらう。
- ・ 3年生から号令。
- ・ 3時30分ごろをめでに終了、解散ですが多少のずれは問題なし。「さよなら」の挨拶。
- ・ 地区の方と次回の内容を確認（地域主体で地域防災訓令の内容について）をしてそのまま解散。

【終わりに】

今後、各地区の生徒チーフを集めて「防災クラブ」を組織し、防災についての各行事の主体として活動する。

主な仕事・・・地区の集会、防災訓練の反省会等の司会進行、各地区の活動のまとめ作成。

防災ワークシート②（一人一人が災害に備える）

地区名	担当の先生	年	組	番	氏名
-----	-------	---	---	---	----

～会の内容～（例）

- ① 担当の先生から ②、町内会の方から ③代表生徒の決定 ④、一人一人が災害に備える
⑤、町内会の方から ⑥、担当の先生から

1、先生方・町内会代表の方の話

--

2、地区の代表生徒を決めよう。（※地区によってはブロックの代表になります。）

1年	2年	3年
()	()	()

3、防災と減災の違いについてまとめましょう。

防災
減災

4、自助って何？

自助とは、

--

5、自宅内避難について

自分の家で自宅内避難する場合にどこが最適かを考えましょう。

場 所： ()

理 由：

注意点・改善点：

*班の他の人はどんな風に考えたのかな？

6、循環備蓄

備蓄する食料として可能な物にはどんな物があるでしょうか？

*自分で優先的に備蓄しておきたいものに○をつけてみましょう。

7、中学生である私たちが、大きな災害の後に地域の役に立てることにはどんなことがあるでしょうか？

「地域で助け合う」（共助）場面で、中学生の果たす役割は大きい